

製品名: ATF2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87441**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:55 kDa; Observed MW:70 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATF2
別名	HB16; CREB2; TREB7; CREB-2; CRE-BP1
遺伝子 ID	1386
SwissProt ID	P15336
免疫原	ヒト ATF2 の合成ペプチド

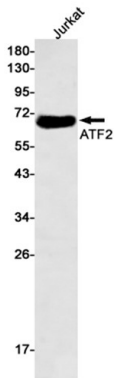
背景

この遺伝子は、DNA 結合タンパク質のロイシンジッパーファミリーに属する転写因子をコードしています。コードされているタンパ

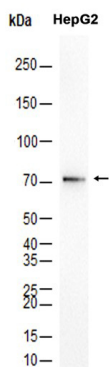
ク質は、そのメカニズム的に異なる機能を果たす能力に基づき、ムーンライトタンパク質として同定されています。このタンパク質は、八量体回文構造である cAMP 応答性エレメント (CRE) に結合します。c-Jun とホモ二量体またはヘテロ二量体を形成し、CRE 依存性転写を刺激します。このタンパク質は、in vitro においてヒストン H2B および H4 を特異的にアセチル化するヒストンアセチルトランスフェラーゼ (HAT) でもあります。したがって、クロマチン構成成分に直接作用することで転写を活性化する配列特異的因子の一種である可能性があります。コードされているタンパク質は、転写制御における役割とは独立して、細胞の DNA 損傷応答にも関与している可能性があります。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つっています (RefSeq 提供、2014年1月)。

研究分野

画像データ



ATF2 抗体 (1:500 希釈) を使用した Jurkat 細胞溶解物中の ATF2 のウェスタンプロット検出。



AMRe87441 を 1:2000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウェスタンプロット分析しました。